

いのち輝く

川之江南中学校長だより 2024.5.22

疾風に勁草を知る

先日、四国中央市 20 周年記念式典に参加させていただきました。高校生が考案に携わった新しいロゴマークも発表されてすてきだなと感じました。二市一町一村が合併して、はや20年もたつことに驚きつつ、これからのますますの郷土の発展を祈りながら式典を観ていました。

開会式の中で、来賓の方の祝辞を聞いていると「シップウニ ケイソウヲ・・・」という言葉が出てきました。私は、恥ずかしながらこの言葉を知らず、「???」となり、後で調べてみました。すると「疾風（しっぷう）に勁草（けいそう）を知る」という言葉でした。由来が紹介されていて、後漢の光武帝が初めて挙兵したときに、形勢が悪くなってくると周りの者が次々に逃げ去ってしまった中で、最後まで残った家来に言った言葉だということです。「疾風」は早く激しい風、「勁草」は風雪に耐える強い草のことだそうで、「強い風の時に、風に負けない強い草を発見することができる」と直訳され、意味は、「困難や試練にあった時に始めて、その人の意志の強さや人としての値打ちがわかる。」という意味でした。厳しさを持った言葉ですが、よい言葉だと感じました。調べてみると、シドニーオリンピック女子マラソン金メダリストの高橋尚子選手も座右の銘として大切にしているとのことでした。自分自身がいざというときに立派な振る舞いができるかどうかはわかりませんが、そう振る舞えるように日々の生活を真摯に行っていくことが大切だと感じます。運動部は、もうすぐ市総合体育大会を迎えます。試合の中でも苦しい場面は訪れるものですが、そのときに動じず普段通りのパフォーマンスが発揮できるか、また、残念ながら敗れてしまったときにどのような振る舞いができるのか。そのときの姿が大切であると共に、どう振る舞えるかは普段からの競技への向き合い方にかかっているのだと思います。

ただ、必ずしもだれもが立派に振る舞えるものではありません。失敗も含めてそれもまた将来へのよい経験となると思いますし、よい経験にしていくことこそが大事だと思います。川之江南中学校選手の市総合体育大会での健闘を祈っています。選手の皆さん頑張ってください。

【絵の奉納】

三皇神社さんに依頼を受け、美術部が絵を制作し奉納しました。実物を見せてもらいましたが、迫力ある構図で大変すばらしい作品ができあがっていました。三皇神社さんも大変喜ばれていました。境内内に飾られていますので機会があれば是非ご覧いただければと思います。

